

議会だより

しょうわ

2010.7.22

No. **146**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

塩澤 浩

中敏 美

役場の
お仕事って
ナニ！

常永小3年生の社会科見学（議場）

特集	議会活動報告会	2
	議会基本条例制定をめざして	4
	子宮頸がんワクチン接種を予算化	6
	7議員が一般質問	10
	井戸端会議（住民・議員の対話集会）	16
	委員会レポート	18
	昭和町に住んでみて Vol.10	20

特集 見て!聴いて!話して!



～初議会活動報告会を開催～

シンポジウム

住み良い”町”を目指し

平成22年7月17日、全町民を対象に昭和町地域交流センターで、昭和町議会活動報告会を開催しました。

参加した住民も、普段はあまり目に見えない議員の活動を熱心に聞いていました。

活動の経過と報告

議会と山梨学院大学が連携し2年が経過しました。コーディネートに山梨学院大学江藤俊昭教授を迎え、これまで山梨学院大学との連携で学んできたことや行ってきた議会活動を、浅川議長から直接町民に報告しました。

住民との対話集会（井戸端会議要望への対応・意見書）の成果発表を萩原副議長が行い、江藤教授からの質問に回答しました。最後に、議会基本条例制定（P4、5に特集）について三井地方分権対策特別委員長と江藤教授により、議員の思いや意見などを交えながら経過を報告しました。

全国市町村議会のモデルケースに

議会改革の第一人者である江藤教授からは、町議会と大学が連携し、大学教授の専門的な知識の活用、若い感性を持った学生との議会改革・まちづくりを目指すことは全国初であり、全国の市町村議会のモデルケースで注目の的となっている素晴らしいことだと、激励の言葉もいただきました。

当日は、第一部に山梨学院大学陸上競技部の上田誠仁監督による講演会があり、「遥かなる夢にむかって限りなき挑戦」と題して、「箱根駅伝」の思い出と選手との関係エピソードを交え講演していただきました。

第二部では、「大学と連



講演する上田誠仁監督

携、議会改革を推進し2年を振り返る」として議員活動報告会をシンポジウム形式で行いました。昭和町議会では「学ぶ・行動する・改革変革する」議会として、山梨学院大学との提携はもとより、学生を巻き込んだ学習や井戸端会議、議会改革推進委員会の立ち上げなど、委員会を中心とした活動の場を広げていきます。約300人の方のご参加をいただき、ありがとうございました。

山梨学院大学教授による
勉強会



学ぶ議会



町内企業を訪問

全12地区で井戸端会議



行動する議会

キーワード
「謙虚に果敢に」

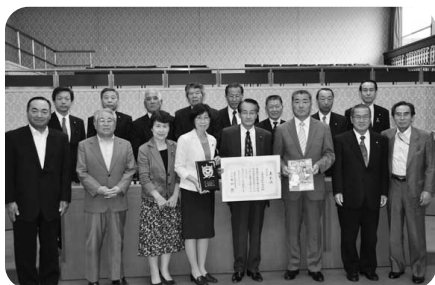


一般質問は
対面方式・一問一答に変更

改革・変革 する議会



春・秋の交通安全週間
での呼びかけに参加



議会広報が全国2位に輝く

学ぶ

意識改革
↑↓
資質向上
↓
問題解決力の向上

- ・山梨学院大学との提携で、教授による勉強会を定期開催
- ・学生模擬議会・ワークショップの開催
- ・各委員会でテーマを設定し、自主研修
- ・地元企業との意見交換会・企業見学会

行動する

住民活動への参加
↓
協働活動の推進

- ・安協との協力で、交通安全週間に参加
- ・井戸端会議で各区の現状や課題など把握
- ・地域行事等への積極的参加
- ・各種団体・委員会との懇談会による交流

改革 変革する

現行制度の点検・
見直し・改善
↓
具体的改善・改革

- ・議会改革推進会議の設置
- ・一般質問を一問一答方式に変更
- ・政務調査費の減額を議員提案で実現
- ・議会基本条例の制定
- ・住民目線の議会だより作成
- ・ホームページで議会の動きを即座に掲載

クローズアップ 議会改革

制定をめざして

20回以上審議を重ねた小委員会



なぜ基本条例が
必要なの？

「地方分権」の時代を迎え、市町村の自己決定、自己責任の範囲が広まっています。住民から選ばれた町長と議会がそれぞれの役割をしっかりと果たすことが求められます。特に議決権を持ち、行政の批判、監視、調査や政策提案の機能が期待される議会の役割はますます大きくなっています。

議会の制度については地方自治法で大まかに規定されていますが、新しい時代に対応できる議会の基本的なあり方と、運営の仕方をより具体的に、細かく規定し、議員の資質と議会活動の内容をレベルアップしていく必要はありません。

今まであった議会関係の条例や規則よりも優位に立つ「議会の最高規範」となる条例を制定し、住民の声がしっかりと議会に届くために「より開かれた議会」を目指し、いわば「議会の憲法」のもとに議会改革を推進していくとします。

基本条例では
何を決めるの？

基本条例は8章22条から成り、「前文」で議会の基本的なあり方と機能、議員の位置付けと資質向上、信頼される議会を目指し住民の信託に応える決意を述べています。

基本条例の
目玉は？

- 一、住民と対話する議会
- 二、一問一答方式と執行側からの逆質問
- 三、すべての会議を原則公開とする
- 四、議員の議決責任を明確にし、議会広報で公開する

県内町村で初めて 「議会基本条例」

基本条例の内容

第一章

基本条例の目的と議会の基本理念を掲げています。

二元代表である議会と町長がお互いに緊張関係を保つ中で、議会は常に町長の行政運営をしっかりと監視する責任を確認しています。

第二章

議会及び委員会の活動原則を定めています。

公正性、透明性、信頼性の高い「開かれた議会」を目指します。

- ・住民への説明会、懇談会などの開催に努めること
- ・議員相互の討論を重んじる
- ・議員は不断の研究に努めるべきこと
- ・議会は議決責任を自覚し、町民への説明責任を有すること

第三章

議会と町民との関係を規定しています。

町民への情報発信、町民との意見交換の場の拡大により、町民の議会活動参加機会の確保に努め、議会と議員の政策提案の拡大を図

ること。公聴会や参考人制度の活用を図ること。

- ・本会議・委員会は原則公開とし、傍聴しやすい環境の整備に努めること
- ・住民の請願・陳情は政策提案と位置づける。

第四章

議会と町長等（執行側）との関係を規定しています。

- ・本会議での質問答弁は「一問一答方式」とし、本会議及び委員会、町長等は議員の質疑答弁や質問に対し質問することができる。
- ・質問通告した議員には事前に答弁書を提出する。
- ・町長の指揮下にある審議会等への議員の参加は必要最小限に留める。
- ・予算編成方針、長期計画等の作成・変更について町長はその内容を議会に説明し、議会の提言を尊重するよう求める。
- ・議会は予算審議、決算認定、監査、調査等により町の事務執行を監視、検証し、その評価を明らかにするよう努める。

第五章

自由かつ達な討議の拡大を規定しています。

- ・審議し結論を出すまで、議員相互間の自由かつ達な討論により議論を尽くすこと。
- ・政策、条例、意見書等の議員提案を積極的に行うこと。

第六章

議会の体制整備について規定しています。

- ・常任委員会、特別委員会の機動的運営・議員研修の充実。
- ・議会事務局の体制整備。
- ・議会広報の充実・インターネットの活用。

第七章

政治倫理について規定しています。

- ・公正を疑われる行為の禁止と政治倫理の保持。
- ・地域行事への参加は実費負担とし、寄付行為の疑念を持たれないようにすること。
- ・議員は原則的に区長等地区の代表や、補助金交付など受益団体の役員に就任しないこと。

第八章

補則 社会情勢の変化、住民の意見を踏まえ、必要に応じてこの条例の見直しを行うと規定しています。

パブリックコメントを募集

今後町民の皆様により、議会基本条例についてパブリックコメントを求めます。

皆様の率直なご意見をお寄せください

議会事務局 055(275)8842

決めました

子宮頸ガン予防ワクチン接種 を予算化

平成21年6月定例会は、6月15日から21日までの日程で全議員出席のもと開かれました。この議会では平成22年度の一般会計・国保会計の補正予算2件ほか、条例改正3件を原案の通り可決、人事案件4件を同意、専決処分3件を承認しました。

一般質問は7人の議員が当面する町政の課題について町の考えをただし、活発な議論を展開しました。

西条児童館の待機児童解消へ

一般会計補正予算 (第1号)

4、407万円を増額補正し予算総額は66億8、207万円に。

- 【補正のおもな使いみち】
- ・子宮頸ガン予防ワクチン接種事業 820万円
- ・児童センター移送費 112万円
- ・生け垣づくり推進補助 200万円

- ・総合会館改修設計委託 126万円
- ・図書館嘱託・臨時職員賃金 155万円

- 【おもな補正財源】
- ・子宮頸ガン予防ワクチン県補助金 270万円
- ・財政調整基金から繰入れ 4、137万円
- 全員賛成で可決



児童館行事「みんなであそぼう」

ピックアップ

平成22年度当初で西条児童館の留守家庭児童学級待機児童は、希望に添えなく「ほたるつ子ルーム」に入室した児童が12名、待機児童が7名いる。西条児童館の増築工事が完了までの対策と「ほたるつ子ルーム」の待機児童の夏休み対策として、定員に余裕のある児童センターへ町の10人乗りバスで3〜4回行う。シルバ人材センターと移送契約する。

6月定例会で こんなことを

国保特別会計補正予算 (第1号)

・補正額 584万円
 予算総額は14億6、
 484万円になりました。
 全員賛成で可決

条例の改正

・職員勤務時間、休暇等
 に関する改正
 配偶者の就業にかかわら
 ず早出遅出勤務の請求がで
 きる等、勤務時間・休暇の
 請求の条件追加。
 ・職員の育児休業に関する
 改正
 夫が育児休業を請求する
 ときに産後8週以外にもう
 一回取得できる等の変更。
 ・国保税の改定
 国の医療制度改革の影響
 や医療費の増加等に伴う財
 源確保のため、国保税率の
 引き上げ。
 全員賛成で可決

専決処分の承認

・町税条例の改正
 全員賛成で承認
 ・国保税条例の改正
 賛成14、反対1で承認
 反対者 深澤平助議員
 ・21年度一般会計補正予算
 (第6号)
 (補正額985万円)
 全員賛成で承認

教育委員2氏選任に同意

全員賛成で同意



再任
 曾根眞由美氏
 (西条一区)



新任
 清水正夫氏
 (押越)

国へ意見書を提出

国保に公費助成 拡大を求める

(提出者) 深澤平助
 (賛成者) 樋口敏夫 河田あけみ

全員賛成で可決

要旨

国保事業の現状は、医療技術の進歩、高齢
 化の進行等により医療費が増加を続けている
 一方で、失業等により国保税収入が見込めな
 いケースも多く、運営の困難が深刻化してい
 る。保健指導や疾病予防の努力と併せ税負担
 の増加も避けられないが、被保険者の負担軽
 減のため、公費助成の拡大を要望する。

公平委員に笠松氏



新任
 笠松豊乗氏
 (西条一区)



再任
 杉浦精氏
 (西条新田)

固定資産評価審査 委員に杉浦氏

押原公園の指定 管理者委託料は？

浅川議員 町で公園にかかわっている委託料の金額と芝の管理費はどこから出ているのか樋口議員 一部芝生が枯れたと聞いたが、修理費用は。都市整備課長 指定管理者に委託しているが、大規模な修理や工事は町で対応。細かいものはその都度協議。22年度は2,300万円で委託契約。芝の管理は委託料の中から。芝の修理費用も委託料の中で行っている。



押原公園竣工式テープカット

押原公園での 訓練の予定は？



消防団訓練

三井議員 押原公園は緊急時のヘリポートとなっているが、実際面を見据えて訓練はしないのか。また、備蓄倉庫を町民にも公開してはどうか。企画財政課長 自衛隊は要請があれば協力すると聞いているが、着陸地が天然芝のため対策や検討が必要。備蓄倉庫は各種団体から希望を募り、公開していきたい。

イオンの来春 オープンに向けて の動きは？



建設がはじまったイオンモール

山田議員 常永駅周辺整備の見通しは。田中議員 区画地にイオンに続いて企業の進出はないのか。区画整理課長 常永駅周辺は定期的にいつとは言えないがイオンと連携しつつ、開発予定。保留地は企業に直接販売していないが、地権者個人には話があると聞いている。また、分譲住宅も順調だと聞く。

一級水準点を 設置する目的は？

深澤議員 水準地点の観測の目的は。塚原議員 21年6、7月で上河東の水位が下がっているという報告だが。環境経済課長 地下水の保全のため、水準点の観測をする。上河東の水位はその時期に20cm下がっているが、区画整理をしている影響もあると考えている。

子宮頸がん ワクチンは？

河住議員 任意接種でなく集団接種では行わないのか。いきいき健康課長 対象者の意向や体調の中で期間内に接種する方向で行いたい。河田議員 子宮頸がんワクチンを受けられる病院名の掲載をいきいき健康課長 医師会で決まり次第医療機関名を公表する。

地区担当職員制度 で職員の負担は？

河住議員 担当職員の活動手当は時間外手当に付け加えて支給するのか。
福島議員 区の行事にどの程度参加するのか。

総務課長 活動手当は時間外手当に代わるものとして支給する。担当職員が出席する行事等はおおむね年15回くらいと考えるが、回数にこだわらず任せたい。



西条小で行われた地区運動会

工業団地と 町のつながりは？



国母工業団地に企業訪問

浅川議員 不景気で法人税の落ち込みがありというのが税収状況はどうなのか。また、町と組合、工業団地との係わり方は。

税務課長 20年度の法人税が9億2千万円だったのに比べ、21年度は3億6千万円の決算予定。22年度は3億3千万円で予算を組んでいるが、景気の回復により5億円程度を見込んでいる。工業会とは懇談会を年4回開催しているが今後検討していきたい。

児童館移送 サービスとは？

河田議員 待機児童のバス移動は今後このまま続けていくのか。

三井議員 受け入れ先の児童センターの職員の増員は。

福祉課長 西条児童館待機児童の状況で判断。近隣では児童館無料は昭和だけなので、制度的なものも視野に入れ、有償無償も検討していきたい。また、職員数は特に問題はないので現状のままいく。



児童館まつり

国民健康保険は どのように 進んでいくのか？

河住議員 現在の収納率は。町民窓口課長 20年度87・2%。21年度の87・5%は、実績での収納率を見込んでいる。河住議員 3月の国保医療費が前年度より20%伸びている。税率を上げるより滞納を押しさえていくことも考えるべきだ。



町民窓口課長 前年度は新型コロナウイルスインフルエンザの流行が影響している。いまの状況では年々医療費は増えていくのは間違いないので滞納の対策も考えたい。
萩原議員 資産割を取るのには二重取りという意見もある。考えてほしい。
町民窓口課長 今後方式自体の見直しを行っていきたい。

教育厚生常任委員会に初の一般傍聴がありました。

施策を問う

ここが聞きたい

本会議の議事録はホームページで検索できます。議会事務局でも閲覧できます。

一般質問



町内河川の 河床しゅんせつは

田中

本町には、各地域に主要な河川があり、農業用水への利用や大雨・洪水時の排水路として重要な役目をしている。しかし、各河川の河床のしゅんせつは共通した問題で、河川全体が砂や、汚泥が堆積して川ムクが年々増えている。台風・大雨時の増水も危惧される河床のしゅんせつ対策は。



田中 博愛 議員

A 治水・流下能力向上のため しゅんせつする

町長

町で管理する中小河川の清掃は、親しみを持って生活するため各区分で行っており、河川美化の取り組みに対し補助金を交付している。町管理の大型河川のしゅんせつは、治水対策と河川環境の観点から、毎年機械器具借り上げの予算を計上し、治水に努めている。土砂が堆積し水の流れを阻害する大型河川は、堆積土砂のしゅんせつなどで川の断面を確保し、治水能力や流下能力の向上を図るため、必要に応じてしゅんせつしていきたい。



山伏川河川清掃（建設協力会）

Q 高齢者の医療費無料化を



ほ さ か てる こ 保坂 明子 議員

医療費無料化を

保坂 昭和町の高齢者医療費無料化を、担当課から説明を受け勉強を重ねてきたが、85歳以上の322人（全人口の1・8％）なら、無料化できるのではないかとという結論に至った。「高齢者にやさしいまちづくり」のため、高齢者の医療費無料化を実施する考えは。

A 高齢者サービスを総体的に検討

町長 後期高齢者医療制度が2年経過したが、国は平成25年4月に、新しい高齢者医療制度の施行を考えている。今後の医療制度改革を見据え、医療費の適正化の観点から、特定検診・特定保健指導の推進や財源確保のため、保険料収納率の向上、高齢者に対する福祉サービスなど、総体的に検討していきたい。

Q 子育て支援は

河田 次世代育成支援地域行動計画の、後期計画の策定ができていないが、計画づくりが進むことを期待している。前期5年間の検証と、後期計画の取り組みは。親同士が「子育てサークル」をつくり、自主的に活動できる見守り支援として、地域施設の開放などがある。町の考えは。ひとり親・低所得家庭への援助に、サポート事業の報酬軽減を検討する考えは。

A 地域全体を支援の場に

町長 各課と連携し、前期の点検と評価を行い、検証するなかで未実施の事業を重点に検討していきたい。児童館や地区公会堂の利用ができるよう、区長会にも働きかけしていきたい。ファミリーサポート昭和は、利用者も年間1千件前後で推移しており、会員も450人と順調だ。ひとり親等の低所得者サービスの報酬について、調査・検討していく。



かわ だ 河田あけみ 議員

Q 障害者の雇用対策は

河住

障害者の職業的自立が強く求められる。

障害者の合計は669人、就業している方、職につけない方は何人か、実態は。法定雇用率1・8%、町は達しているか。一般事業主にも雇用義務が課せられている。町の実態把握と指導はいかがか。

A 就労支援と雇用維持・促進図る

町長

就労実績に対する統計資料はなく、特別支援学校の回答でも就労実績はない。障害者の就労支援の充実と、住みよいまちづくりを推進したい。

昭和町全体の雇用率は2・1%、障害者の雇用維持・促進を図っていく。

町内民間企業を調査し、県とともに該当企業に情報提供と雇用促進を働き掛けたい。



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員



役場でも野菜販売をする未来ファームのみなさん

Q お年寄りや女性にも仕事を

河住

社会保障費の増大も問題ではあるが、みんなが働ける社会づくりが大事で、料理を彩る季節の葉や山菜などを、市場に出荷する葉っぱビジネスなど、お年寄りや女性のできる仕事を、事業として推進する考えは。

A 農産物直売所に活躍の場を設けたい

町長

緊急雇用対策の基金事業を活用し、高齢の失業者を町で雇用している。今後、町の特色を生かし、豊かな発想を持った起業団体やグループなどに、支援を考えていきたい。協賛中の農産物直売所の中で、商品やサービスを提供など、高齢者・女性の活躍の場も設けたい。

Q 中学生まで

医療費無料化を

深澤

昭和町の子ども医療費無料化は、平成7年に1歳児、8年に2歳児、その後4歳児、就学時、20年からは小学6年生まで行っている。県内14町村中、すでに11町村が中学3年生まで実施しているが、本町でも早期実施を切望する。

A 高齢者と同様、

総体的に検討

町長

医療費は年々増加し、昨年は新型インフルエンザの影響もあり、子育て支援に対する医療費も増加している。医療費無料化に伴う財源確保も必要のため、高齢者施策と同様、総体的に検討していく必要がある。



ふかさわ へいすけ
深澤 平助 議員



国保5カ国語パンフレット

Q 国民健康保険の

問題点は

深澤

本町の国保料は年間10万円以上で、大きな負担と保険料滞納に表れている。これらの問題に町はどう対処するのか。

A 法人税減収などで

町財政も厳しい

町長

近年の経済不況による離職者の増加や、企業経営の悪化による法人税等の減収で、町の財政も大変厳しくなっている。医療費の適正化や保健事業の推進に努め、保険税徴収も滞納者の実態調査を進めるなど、それぞれの状況に応じた対応を継続的に進めていきたい。

Q 放課後

児童保育は

塩澤

少子高齢化の中、本町は高齢化率約15%と低く、延長保育や児童館の充実など、さまざまな施策を実施し喜ばれている。その中の西条児童館・留守家庭児童学級は待機児童が多い。増築工事が完了するまで対策が必要だ。定員オーバーも視野に、学校施設の利用も考えたかどうか。

A 今後のあり方

幅広く検討する

町長

留守家庭児童学級は、小学校1年生から3年生まで対象に入級を認めている。待機児童はほたるつ子ルームで7人、常永児童館で3人いる。工事完成までの間、待機児童解消はシルバ人材に移送を委託し、バス移送による入級を実施していきたい。今後のあり方についても、幅広く検討したい。

教育長

都市化する本町のこの先を考えれば、放課後の子どもたちのためには、公共施設を基本に広い視野で検討すべき時期にきている。



増設された常永児童館



しおざわ ひろし
塩澤 浩 議員

Q 大型SC完成後

の治安は

塩澤

イオンモール甲府昭和・大型ショッピングセンターが、来年3月完成を目指している。都市化の進展で商業施設も多いが、大規模開発で犯罪が多発する傾向と聞く。交番設置を関係機関と協議する考えはあるか。

A 交番設置を

関係機関と協議する

町長

地域の犯罪件数、周辺の交番・派出所の設置状況、警察官確保などの設置条件もあるが、常永地区一帯の治安状況を検証し、関係機関と協議していく。



災害救援活動に関する協定書は

樋口

災害時に西条地区の避難地・避難所となる地元の甲府昭和高校と、協働体制による救援活動に関する協定書を結ぶ考えがあるか。高校生の復興に貢献する若い力は、何よりの財産となる。町の考えは。



学校の意向を確認し協議する

町長

災害被害の軽減にボランティアが大きな役割を果たしている。大規模災害時には、1人でも多くの救援活動に従事する要員が必要だ。甲府昭和高校の意向や、災害時に受け入れ態勢の窓口となる社会福祉協議会と、協議するなかで進めていきたい。



樋口 敏夫 議員



西条小の議場見学



キャリア教育推進は

樋口

子どもの成長や発達をめぐる社会的・職業的自立が遅れる傾向にある。県下初のキャリア教育指定校に、押原小・中学校、甲府昭和高校が指定されているが、行政が窓口になり国母・釜無工業団地のエンジニアによる講師や、優良企業見学など、キャリア教育実施の考えはあるか。



職場体験学習や職業講話も実施

教育長

平成21年度から23年度までの3年間モデル校に指定されたが、研究協力校の実践研究を、より充実したものにするため、具体的取り組みを県とも協議し、事業推進を図りたい。工業団地入居企業に体験事業所の受け入れ要請や、職場体験学習の依頼をしている。また、総合学習の中で進路について考えるため、ヴァンフォーレ甲府のコーチや、保育士・調理師・警察官などの職業講話も実施している。

地域住民と議員の対話集会

井戸端会議

2年目を迎えた井戸端会議。昨年よりさらに地域ごとの住民の悩みや声を聴き、町議会の役割として議論・調査・研究を進め、昭和町の住民福祉の向上と、地域社会の活力ある発展を目指していきます。

井戸端会議で出された意見・要望は、結果報告書として区長

に提出します。問題の中には、大きな財政支出が伴うものや昭和町だけではどうにもできないものもあり、すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、

会議は執行機関と一緒に課題解決に知恵を絞っていきます。（紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載）



井戸端会議から実現に向け動き出した
押原小・芝植えの様子

第1回井戸端会議 （飯喰区）

5月28日 飯喰区集落センター

- 出席者 飯喰区民 20人
- 参加議員 6人
- 教育厚生常任委員会
保坂明子委員長

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 来年のイオン開店は多くの不安がある。治安や環境美化、街路樹・防犯灯・消火栓設置など、町として対策はないか。

A 街路樹・防犯灯は町・区で設置される。消火栓は町で検討。治安や環境美化は防犯委員会を作り、ごみ収集は行政と話し合ったらどうか。イオンも地域に貢献したいと申し出ている。

Q 防犯灯にLEDは初期費用がかかるが、長期的には電気料は安くなる。変えていく考えは。

A 企画財政課で、常永駅の防犯灯を青色LEDで試行的に行って

いる。また青色以外にも当局に相談する。

Q 保留地販売で新旧住民が入り乱れる。区費の問題を行政や議員が指導して欲しい。

A どの地区も区費は最初が肝心だ。飯喰区の規則を作り、企業と話し合ったらどうか。

Q 区画整理され、散歩コースとして歩いている人も多い。歩道にベンチなど設置する予定は。

A いまから町に要望し、計画していくことが大事だ。



第2回井戸端会議 (清水新居区)

5月29日 清水新居区公民館

- 出席者 清水新居区民 60人
- 参加議員 7人
- 産業土木常任委員会
野中敏美委員長

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 議会報告で町の借金が136億円、町民一人当たり約80万円と知った。昭和町は不交付団体で恵まれているが、借金をどう返すのか。

A 土地建物を含め資産が約430億円。下水道は長期的に精算できる。区画整理・押原公園など大型事業で財政運営は厳しいが、企業が多くの税金を出している。俟約していくことが大事だ。

Q アピオの交差点の渋滞が当たり前になっている。対策する考えはないか。

A 新環状道路の開通で多少緩和



しているが、子どもたちも保護者が付き添いで通学している。町は昭和インター線の早期道路改良などの道路政策をしている。

Q 子どもが自然の中で成長する環境を整えて欲しい。学校の周りにもつと緑を。

A いろいろな見方や意見がある。町の理想と現実を把握し、学校・PTA・町で考えながら進めていく。

Q 子育てボランティアが子どもの下校を見守っているが、通学路で側溝が深く危険なところがある。早く柵を設置して欲しい。

A 建設課に話は伝わっているよ。うなので、早急な対応を再度求めてみます。

第3回井戸端会議 (河東中島区)

5月31日 河東中島区公会堂

- 出席者 河東中島区民 21人
- 参加議員 6人
- 総務常任委員会
福島正明委員長

おもな
意見・要望と議会の対応

Q 中島は調整区域だが下水道の工事が始まる。受益者負担金はどのようになるのか。

A 調整区域も市街化区域も受益者負担金は同額になる。広域で行っている事業なので、負担金に差を付けることは難しい。

Q 調整区域は自分の子どもたちが住宅を建てることもできない。地域の高齢化は進み、出生率は下がる一方だ。条例で自由に開発ができるようにすべきだ。

A 昭和町は事務処理市町村ではないため、県の条例で区域を定め、開発許可が可能となるが、権限委



譲を受ける必要がある。今後、当局と相談していきたい。

Q 各公会堂のパソコン、光ファイバーの稼働率はどうか。また機能が古くなっているため使いにくい。使い方をもう一度考えたらどうか。

A 地域によっては使用している。区長会の議題にし検討したい。

Q 区画整理など開発が進むなか、押原駐在をどのような位置付けとして考えているか。

A 6月定例会で塩澤議員が一般質問する(P14参照)。当局側の回答に注目していただきたい。

委員会レポート

平成22年
6月4日

教育厚生常任委員会

(昭和町学校給食センター)



こちらへんが胃！小林先生の給食指導

給食から生きる力につなげていきたい

今年度からセンター長と栄養教諭の主任が新しくなったということで、学校給食センターで、現状や今後の展望などの意見交換を行いました。

センター長より概要の説明があり、栄養教諭の小林先生から、昭和町の子どもたちの好きな食べ物の偏りやキャリア教育、地産地消を旨指して農協との協力による取り組みなどの話を聞きました。

小林先生は子どもたちに、食への意欲・関心を「生きる力」につなげていきたいと、各学校にいるるなことを発信しようと日々奮闘されています。食育が取りざたされている今日、小林先生のような取り組みが未来の多くの人材を救いまた育てていくことになると感じ、支援できることはやっていきたいと感じました。

思い切った福祉政策で大きな効果

平成22年4月15日

埼玉県東松山市



障害者就労支援センター「ザック」で作業の説明を受ける

埼玉県東松山市の障害者就労支援センターと総合福祉エリアで研修を行いました。障害者就労支援センター「ザック」は、年間40人を超える利用者が就労し、市からの植栽管理、清掃業務の委託などから企業側に就職し、その後のフォローまでを行っています。障害者が働くことで納税者となり、保護者も働きに出られる効果は行政にとって補助金よりも大きいと、民間企業出身の板倉所長は熱く語ってく

ださいました。総合福祉エリアは、3障害者すべてに対応できる総合相談センターと介護老人保健施設、デイサービスなどを併設建物は市の所有ですが、指定管理者制度で社会福祉協議会が運営し、「市民福祉プラン」の構想の下で総合的な相談支援と、専門分野の連携が取れたシステムが構築されています。

平成22年
5月21日

総務常任委員会

(千葉県市川市)

千葉県市川市の広尾防災公園は、今年の4月1日に開園した約3・7haの地区防災公園で、近隣の1km圏内、約1,300人の一時避難場所の機能を有する都市公園です。公園建設は、地震以外に水害も想定され、公園付近は2haの浸水区域のため防災機能確保を得ており、地区の各自治会から代表者3名が出て1年間かけて住民の意見を反映し、遊び広場の遊具等は子どもや近隣者の意見を取り入れ



公園内施設の説明を受けながら見て回る

広尾防災公園を視察

ています。

昭和町も防災を兼ね備えた押原公園が、5月末に竣工しましたが、備蓄倉庫・飲料水貯水槽・雨水貯水槽などの管理、炊き出しに利用可能なカマド型ベンチ、キャンプも楽しめる運用など参考になるものが多くありました。

地震と水害の自然大規模災害に対する危機管理体制の強化と、快適都市空間の形成を図ることを目的に建設された広尾防災公園は、計画段階から地域のための施設という意識を持って、検討協議がされてきたことに注目をしながら押原公園のよりよい活用の仕方に貢献していきたいと思いを新たにしました。



雨水貯水槽などの管理について質問

平成22年
5月19日

産業土木常任委員会

(役場・委員会室)

改めて昭和町の入札制度を確認

町の入札制度についての勉強会を開催しました。

契約には、随意契約、指名競争入札、総合評価落札方式、公募型指名競争入札、一般競争入札などありますが、入札方法の実施手続きの公告から入札までの一連の流れを、契約担当課である総務課長・係長から町の現状・状況を確認しました。

総務課長から、「2年前くらいから試行を繰り返し、よい悪いと思われる入札改善を行っ

てきた。今後は、これらの結果をもとに条例・規則等を改めていきたい」との説明がありました。委員からは、日ごろ考えている点や疑問点を出し、入札方法について意見交換をし、理解を得ました。

不良業者の排除、町内業者の育成、実績を考慮する中で評価、地元へのボランティアなどの貢献度、技術者の状況などから、執行の公平性を確認しました。

お知らせ

議会だよりではお伝えしきれない議会の様子を昭和町公式ホームページでご覧いただけます。ぜひ、検索してください。



URL

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。

好きな町、昭和町



築地新居区

小林 奈緒美さん

私たち家族が築地新居に越してきて、今年で13年になります。越してきた当時はまだ周りの環境に慣れずにいましたが、先輩に誘われて入った地区のママさんバレーボールで仲間もでき、地区の行事にも参加するようになり、今では月2回は気のあつた仲間と体を動かしています。

息子たち二人は数年前に昭和町野球スポーツ少年団に入団して、野球の基礎、仲間とのきずな、強い精神力を学んだように思います。そこで過ごした時間が、今の息子たちに大いに役立っていると思います。

以前野球の関係で、ろうあ者のご夫婦と知り合いましたが、なかなかコミュニケーションが取れずにいたときに、町で手話講習会があることを知りました。初めての手話で覚えられるか不安でしたが、思い切つて参加させていただきました。講師の先生が親切丁寧に指導してくれたおかげで、最後まで続けることができました。そこで覚えた手話を使ってご夫婦とも話ができて、友達になることができました。

スポーツや文化など幅広い分野において活用できる場所があり、そしてそれをサポートしてくれる人たちが揃っていて、子どもから大人まで好きなことにチャレンジできる昭和町を私は好きです。

安全・安心・住みよいまち「昭和町」



西条 一区

田中 憲治さん

昭和町に移り住んで来たのは、25年前の子どものたちが小学生のころで、少子化どころ吹く風の時代、賑やかに子どもが飛び回っていました。

先日、孫と出掛けた押原公園では、緑の芝生の上をはだして飛び回り、遊具や水遊びなど、大人も子どもも大いに癒やされました。

仕事の関係で昭和町を離れてみて、初めて昭和町の素晴らしさを実感できました。スーパー・コンビニ・飲食店等、多くの店が近くにあり、買い物の利便性がよいことです。県外から友達が遊びに来ると「昭和町っていいね」と言います。なにがと聞きますと「だつて歩いて買い物に行けるんだもの」とよく言われます。

さらに、ボランティア活動、球技大会、夏祭り、防災訓練、先輩に感謝する会、運動会、文化祭、ふれあい祭り等の自治会活動が活発で、住民参加の行事が多く、施設等も完備され、大人から子どもまで手厚く優しい充実した生活を過ごすことができます。私も昭和町民として少しでも、昭和町のお役に立てるように日々努力していきたいと考えています。

これからも昭和町が「安全・安心・住みよいまち」であり続けることを願っております。

編集ノート

日に日に暑さも増し、水田の稲の背丈もぐんぐん伸びています。盛夏を迎えた今、皆さまには元氣にお過ごしのことと思います。

さて、4年に一度の世界のスポーツ祭典「ワールドカップ」も、パウル君の予想通り、スペインの初優勝で無事終了しました。わが日本も大方の予想を覆し、見事、一次リーグを勝ち抜き、決勝トーナメントに出場、私たちに感動を与えてくれました。これからの活躍を大いに期待します。

広報編集委員会では、全国コンクール準優勝に満足することなく、もっと多くの町民に読んでもらえる「議会だより」を目指して努力しますので、今後ともよろしく願っています。(野中敏美・記)

。広報編集委員会
委員長 河田あけみ
副委員長 河住 保茂
委員 萩原 馨 保坂 明子
野中 敏美 塩澤 浩

議会を傍聴 しませんか

次回定例会の一般質問は
9月11日(土)
休日議会を予定します

手続きは2階本会議場入口で
住所と名前を書くだけです。